特集

森川海人っプロジェクト

MORIKAWAKAITO

「森川海はひとつ」という思いを「人がつなぐ」

有明海と玄海という2つの海に面し、森や川が私たちの暮らしの身近にある佐賀県。佐賀の人々は、山に植林し、川の治水・利水に力を尽くし、海に堤防を築きながら、実りある豊かな暮らしをつくりあげてきました。先人がつないできた自然をさらに未来へつなげるため、県では「森川海人っプロジェクト」に取り組んでいます。

「森川海はひとつ」として、佐賀の豊かな自然環境を未来につなげていくこのプロジェクトの取り組みのひとつが、自然を感じ、楽しみ、学ぶ体験イベントです。佐賀の森川海に直接ふれる「森川海人っフェス！」、木材とのふれあいを通して県産木材の魅力を体験できる「よかウッドフェスタ」、海を大切にしようという心を育む「有明海クリーンアップ作戦」など、親子で一緒に学びながら楽しめるイベントを開催。自然にふれることで、自然を大切にしようという思いが生まれています。

プロジェクトの輪は県内の企業や団体にも「チーム森川海人っ」として広がり、プロジェクトに賛同するメンバーには現在70以上の登録があり、森川海を守るさまざまな活動を行っています。

人と自然がつながることで、自然が未来へとつながっていく。そんな「森川海人っ」の理念が、少しずつカタチになっています。先人たちが大切に育み残してくれた佐賀の「森川海」を、次の世代へとつなぐために。ふるさとの自然にあらためて目を向け、一人ひとりが森川海を大切にする心を育んでいきましょう。

問 森林整備課
☎0952-25-7136

森川海人っプロジェクト
WEBサイトはコチラ ➡

きっかけは、平成29年に起きた九州北部豪雨災害

大雨により流出した大量の流木等が有明海沿岸に漂流・漂着し、大きな被害が発生。その後も、令和元年の佐賀豪雨による土砂災害、今年7月の熱海での土石流など、全国各地で大きな災害が続く今、人々のいのちや豊かな暮らしを守る礎となる山を未来へ引き継ぎ、森川海の自然のつながりを守っていくことが大切です。

近年の豪雨災害

平成29年　九州北部豪雨
平成30年　西日本豪雨
令和元年　九州北部豪雨（佐賀豪雨）
令和2年　令和2年7月豪雨（熊本中心に発生）
令和3年　熱海土石流
令和3年　8月豪雨

TEAM MORIKAWAKAITO

チーム森川海人っの取り組みを紹介！

漁協の山

宝の海を守るために私たちも何らかの努力が必要だと思い、今年の5月「漁協の山」に植樹をしました。山の現状を知る良い機会にもなったので、今後も植樹と下刈りを継続し、森林の面積を広げていきたいです。活動を通して、子や孫たちにも「宝」の源が山にあることを伝えていきたいですね。

佐賀県有明海漁業協同組合
代表理事組合長
西久保（にしくぼ）　敏（さとし）さん

川を身近に

自然と暮らしを考える研究会
代表
石盛（いしもり） 信行（のぶゆき）さん

約20年前から、小・中学生に川での安全な遊び方を教え、生き物や水質の調査をするなど自然からの学びを通じ、環境教育を支援する活動を行っています。また、唐津工業高等学校の生徒と一緒に、相知の町切水車（ちょうぎりすいしゃ）の保全にも関わってきました。「森川海人っプロジェクト」を通じて、もっと多くの人に地域の自然を大切にする活動に関わって欲しいですね。

佐賀トヨタの山

佐賀の豊かな自然を未来の子どもたちに引き継げるように、今年の6月に県と協定を結び、佐賀市富士町の山間部の一角を「佐賀トヨタの山」として、森林を守る活動に取り組んでいます。今年は、年に8回現地で除草や除伐を社員みんなで楽しみながら実施しています。今後は、山の清掃活動やレクリエーションを通じて地域に貢献したいですね。

ネッツトヨタ佐賀株式会社
大屋（おおや） 秀徳（ひでのり）さん

西九州トヨタ株式会社
小林（こばやし） 清彦（きよひこ）さん